

平成 28 年春ダイヤ改正について

1. 運転本数を増やし、利便性を高めます

- ① 混雑緩和のため朝時間帯に、富山発黒部行き臨時列車を運行していますが、引続き旧型 4 1 3 系 3 両で定期列車として運行します。
- ② 1 5 時台に泊から富山方面行き、2 1 時台に富山から黒部方面行きは、各 1 時間 3 0 分ほど列車がなく、空白の時間解消のため列車を増発します。また、1 5 時台の黒部折返し列車を泊まで延伸します。
- ③ 夕通勤・通学時間帯の泊発富山行き「あいの風ライナー 6 号」を、県東部の要望に合わせて普通列車として運転を行います。また、あいの風ライナー 2 号の両数を利用実態に合わせて 4 両から 2 両にします。

2. 列車を増車し、混雑を緩和します

- ① 朝時間帯に高岡発富山行きの列車及び富山発泊行きの列車を、混雑緩和のため新型車両 5 2 1 系 2 両を臨時増結して 4 両として運転していましたが、定期列車として 4 両で運転します。
- ② 1 9 時台の混雑している富山発金沢行き列車の編成両数を、2 両から 4 両に増車し混雑緩和を図ります。
- ③ 金曜日 2 1 時台の混雑している富山発金沢行き列車の編成両数を、2 両から 4 両に増車し混雑緩和を図ります。

3. 新幹線との接続を見直し、滞在時間を拡大します

- ① 始発の普通列車泊発富山行きから、金沢方面始発新幹線「つるぎ 7 0 1 号」に接続出来るように普通列車(泊発富山行始発)の時間を変更します。これにより金沢からは「サンダーバード 6 号」と「しらさぎ 5 4 号」に乗換えができ、関西、東海地区での滞在時間が長くなります。
- ② 金沢発新幹線「つるぎ 7 3 2 号」から、富山駅で普通列車(富山発泊行最終)に接続出来るよう普通列車の発時刻を遅くします。これにより金沢で「サンダーバード 4 5 号」と「しらさぎ 1 5 号」から乗換えができ、関西、東海地区での滞在時間が長くなります。

4. 所要時間短縮や直通列車化により、さらに利用しやすくします

- ① 直通列車の停車時分の適正化及び待避時間を解消し、富山～金沢間で最大で 5 分の所要時間の短縮を図ります。
- ② 富山駅で乗換えしなくても良い直通列車を増やします。(現行 2 3 本 → 改正 3 7 本) これにより、富山駅での乗換えが不要となります。

あいの風とやま鉄道運行ダイヤ (別紙)